

以下の問いに答えよ。

- (1) 関数 $y = x + 2 \sin x$ の第 1 次導関数 y' と第 2 次導関数 y'' を求めよ。
 (2) 関数 $y = x + 2 \sin x$ ($0 \leq x \leq 2\pi$) の極値を求めよ。
 (3) 不定積分 $\int x \sin x dx$ を求めよ。
 (4) 曲線 $y = x + 2 \sin x$ ($0 \leq x \leq 2\pi$) と直線 $y = x$ で囲まれた 2 つの部分をも、それぞれ x 軸の周りに 1 回転させてできる 2 つの立体の体積の和 V を求めよ。

(23 豊橋技科大 3)

【答】

- (1) $y' = 1 + 2 \cos x$, $y'' = -2 \sin x$
 (2) 極大値 $\frac{2}{3}\pi + \sqrt{3}$, 極小値 $\frac{4}{3}\pi - \sqrt{3}$
 (3) $-x \cos x + \sin x + C$ (C は積分定数)
 (4) $V = 16\pi^2$

【解答】

- (1) $y = x + 2 \sin x$ を微分すると

$$y' = 1 + 2 \cos x, \quad \dots\dots(\text{答})$$

$$y'' = -2 \sin x \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (2) $0 \leq x \leq 2\pi$ において、 $y' = 0$ となるのは

$$1 + 2 \cos x = 0 \quad \therefore \cos x = -\frac{1}{2} \quad \therefore x = \frac{2}{3}\pi, \frac{4}{3}\pi$$

$$x = \frac{2}{3}\pi \text{ のとき, } y'' = -\sqrt{3} < 0 \text{ より, 極大値 } \frac{2}{3}\pi + \sqrt{3}, \quad \dots\dots(\text{答})$$

$$x = \frac{4}{3}\pi \text{ のとき, } y'' = \sqrt{3} > 0 \text{ より, 極小値 } \frac{4}{3}\pi - \sqrt{3} \quad \dots\dots(\text{答})$$

をとる。

- 増減表をかいてもよいが、(1) で y'' を求めているので、これを利用した。

- (3) 部分積分法を用いると

$$\begin{aligned} \int x \sin x dx &= -x \cos x + \int 1 \cdot \cos x dx \\ &= -x \cos x + \sin x + C \quad (C \text{ は積分定数}) \quad \dots\dots(\text{答}) \end{aligned}$$

である。

(4) 曲線 $y = x + 2 \sin x$ ($0 \leq x \leq 2\pi$) と直線 $y = x$ の交点の x 座標は

$$\begin{aligned} x + 2 \sin x &= x \\ \therefore \sin x &= 0 \\ \therefore x &= 0, \pi, 2\pi \end{aligned}$$

であり、曲線と直線で囲まれた 2 つの部分は右図の斜線部分となる。求める体積 V は

$$\begin{aligned} V &= \pi \int_0^{\pi} \{(x + 2 \sin x)^2 - x^2\} dx \\ &\quad + \pi \int_{\pi}^{2\pi} \{x^2 - (x + 2 \sin x)^2\} dx \\ &= \pi \int_0^{\pi} (4x \sin x + 4 \sin^2 x) dx \\ &\quad - \pi \int_{\pi}^{2\pi} (4x \sin x + 4 \sin^2 x) dx \\ &= \pi \int_0^{\pi} (4x \sin x + 2 - 2 \cos 2x) dx - \pi \int_{\pi}^{2\pi} (4x \sin x + 2 - 2 \cos 2x) dx \\ &= \pi \left[-4x \cos x + 4 \sin x + 2x - \sin 2x \right]_0^{\pi} - \pi \left[-4x \cos x + 4 \sin x + 2x - \sin 2x \right]_{\pi}^{2\pi} \\ &= \pi(4\pi + 2\pi) - \pi(-8\pi + 4\pi - 4\pi - 2\pi) \\ &= 6\pi^2 + 10\pi^2 \\ &= \mathbf{16\pi^2} \qquad \dots\dots(\text{答}) \end{aligned}$$

である。

